

鳥獣センター通信

畜産飼料もしっかりと守らましょー

宮崎県は全国有数の畜産県であることから、県内各地域で畜産飼料の自給に向けた生産が行われています。

その一方で、野生動物による畜産飼料の被害は、平成23年度、4千8百万円と大きく、品目別の11%を占めており、畜産経営に大きな影響を及ぼしています。

さらに、飼料作物は「家畜を育てるために選りすぐられた草」であることから、

生育旺盛で栄養価も高く、野生動物にとってもこの上ないごちそうになっています。

つまり、裏を返して考えると、飼料をせっせと野生動物のために生産し、野生動物の栄養状態が良くなることで、その繁殖率が上がり、「野生動物が増える要因」となっており、早急な対策が必要です。

左の写真と図はイタリアンほ場の一部を柵で囲い、4月に柵を外したときのものです。

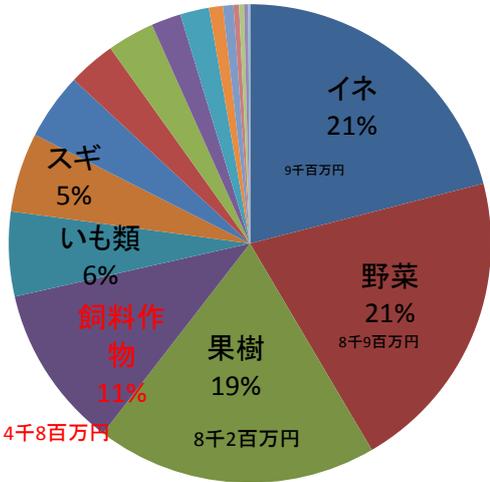
その差は歴然であり10ヶ所当たりの収穫差は約4tにもなります。

シカ1頭の食事は1日当たり約3kgであることから、4tは1千3百頭分の餌に相当します。

これだけ食べれば、シカが繁殖しないはずはありません。

飼料作物は栽培面積も広く、侵入防護柵設置に係るコストがかかると思われがちですが、適切に守ることによって、しっかりとした収量が得られるため、作付面積の削減が図られるだけでなく、安全な飼料を家畜に供給することにもつながります。

低コストで侵入防護柵を設置する方法もありますので、しっかりと家畜飼料を守っていきましょう。



単位：10a

調査日	内側	外側	差
5月初旬	約6 t	約2 t	約4 t

マダニの対策

本県で重症熱性血小板減少症候群の患者の発生が確認されました。

この病気は**マダニが媒介**し、マダニに咬まれた後、潜伏期間を経て、発熱、食欲不振等の消化器症状、頭痛、筋肉痛、神経症状、呼吸器症状、出血症状を起します。

感染予防には、「**マダニにかまれないこと**」が最も重要です。そのため、

- ① 長袖、長ズボン、などを着用して肌の露出を少なくする。
- ② 吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚内に残ることがあるので、できるだけ医療機関で処置する。
- ③ マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、早めに医療機関を受診する。

マダニは野生動物のとともに集落の内部にも広がる可能性があります。野生動物を集落に近づけない対策が重要です。

被害対策に関する問合せ

西臼杵支庁及び各農林振興局
各市町村・各農協・各森林組合 等

これならできる鳥獣被害対策（第3回）

～「無自覚の餌付け」とは～

今回は、野生動物が集落にくるようになった最大の要因である「無自覚の餌付け」について紹介しました。

しかし、野生動物はそれだけでは集落や農作物に依存するようになりません。野生動物の大きな仕事には2つあります。

- 一つ目は、「餌を探すこと」
- 二つ目は、「警戒すること」

この二つをしっかりと行っているならば、野生動物は繁栄していくことができるのです。

前回の「無自覚な餌」は一つ目の仕事に当たりません。

二つ目の「警戒すること」についても、私たち人間は野生動物に対して「無自覚の人慣れ学習」を行っているのです。

では「無自覚の人慣れ学習」とはどのようなことでしょうか？

人慣れは「人や車は怖くない」と学習することで

ではどのように人慣れが進むのでしょうか？

最近、山道を車で走っていると、道脇にシカの姿を見ることが多くなってきました。

しかし、シカを見かけたとしても、車のクラクションを鳴らす人も、立ち止まって石を投げたりする人はほとんど居ません。

これを繰り返すと、シカに対しては、

「恐る恐る出てきたら車に遭遇してしまっただが、何事も無く過ぎていってしまっただ。」

車は怖くないんだ！という学習をさせてしまっているのです。

また、下の図のように、耕作放棄の果樹園があるような集落において、サルを見かけたとしても、

「果樹園に実がなっている間は、水田の被害はないだろう」と追い払いもしないと、

サルに対しては、「果樹園で食べてたら、人間に見つかっただけで何もされなかった。人間は怖くないんだ！」という学習をさせてしまっているのです。

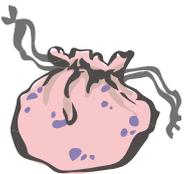
普段の何気ない無意識の行動が、実は人慣れにつながっているのです。

獣害対策は常日頃から、住民みんなで対策を取ることが大切です。



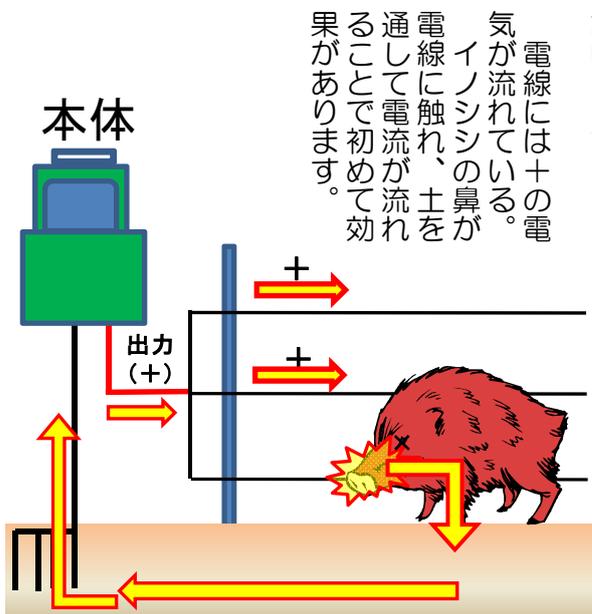
侵入防止柵の知恵袋（第2回）

～正しい方法で守りましょう～



チェックポイント

- ①電圧は4,000V以上を確保する
- ②地上から20cm間隔に線を張る
- ③ガイシはほ場の外側に向ける
- ④定期的に電圧を測定する
- ⑤雑草管理はしっかりする
(漏電しやすい「つる性植物」は特に注意)
- ⑥道路の際に柵を立てない
(舗装から50cm以上空ける)



侵入防護柵の中で、最も広く普及しているのが「電気柵」です。電気柵は、侵入防護柵の中では唯一、「攻撃性のある柵」です。しかし、県内で設置されているほとんどの電気柵が効果のない張り方になっています。今回は、電気柵の構造と設置のポイントを説明します。

電線には十の電気が流れている。イノシシの鼻が電線に触れ、土を通して電流が流れることで初めて効果があらわれます。